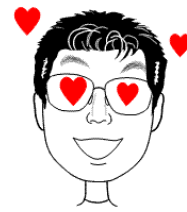


# 豊庄だより



第644号 2020年12月14日

今年の生活発表会は、コロナウィルス感染拡大の影響で、二日間に分けて行うことになりました。運動会に続き、どのような形ならできるかを、何度も話し合いながら作っていきました。1日目(12月11日)のもも、さくら、すみれ、ばら組は無観客で、2日目(12月12日)のゆり、ひまわり組は保護者参加としましたが、参加は「2人まで」とせざる

福岡市早良区南庄2-26-13  
社会福祉法人林生会豊庄保育園  
園長 西尾 達



を得ませんでした。2回のリハーサルを行い本番の2日間を迎えましたが、子どもたちのとりくみの熱気に誘われてか、あわてんぼうのサンタさんが、1日目の午後に2頭のトナカイを引き連れて保育園にやってきたので、大騒動。通訳をしてくれたトナカイさんの話によると、サンタさんは生活発表会のみんなのとりくみをずっと見守っていて、この日ならいいかなと思ひ、北欧のフィンランドから何日もかけてようやくたどり着いたということでした。

ゆり、ひまわり組は、ホールでプレゼントを一人ずついただきました。続いてばら組へ。まずトナカイさんが部屋に入り、みんなにサンタさんが来たことを伝えました。大きな声で、「サンタさ〜ん」と呼ぶと、サンタさんが登場。熊川先生にプレゼントが入った大きな袋を渡しました。その後、サンタさんは、1階へ軽やかに降りていき、すみれ、さくら、もも組の順にあいさつとプレゼントを渡していきました。その後、サンタさんはどこかに行ってしまいました。どこへ行ったかわかりません。(※サンタさんの活躍は写真に収めています。CDRに入っています。)

話が、サンタさんのことばかりになってしまいました。2日間の生活発表会の様子も伝えなければなりません。もも組は、「みんなでチャチャチャ」。お返事にお片付け、上手でした。さくら組は、「わらべうたであそびましょう」。18人のお坊さん、素敵でした。すみれ組は、「てぶくろ」。演技と衣装、どちらも最高でした。でも、手袋を持ち去った黒い靴を履いたなぞの人はどこにいったのでしょうか。ばら組は、「三匹のこぶた」。話の展開に歌と演奏を入れた工夫が見られました。ゆり組は、「こびとのくつや」。出来上がってないはずの服を着て登場してきた時はドキッとしました。最後のひまわり組は、「だんごどっこいしょ」。私には2日たった今でも、「だんごどっこいしょ」の歌が耳の中で鳴り響いています。ゆり、ひまわり組は7月から音楽教室で、歌やピアノの指導を受けてきましたが、その成果が発表に現れていました。また、今回はクリスマス会と発表会を分けて行いました。思わぬ展開もあり、コロナ禍は、マイナスばかりではなかったのかなとも思いました。



※紙面の都合上、すべてのクラスの写真を掲載できませんでした。サンタさんの写真と同様、生活発表会の様子も写真に収め、CDRの貸し出しもしています。また、1日目、2日目の生活発表会とサンタさんの様子をデジタルカメラ(家庭用ですが)で撮影し、Blue rayにダビングをしています。1枚ダビングするのに、およそ20分かかり、みなさんに全員分をお届けできるのは、早くも今週末ころになりそうです。もうしばらくお待ち下さい。